

平成30年台風第24号 被害状況等について

気象の概況

【概況】

- ・台風第24号が日本列島を縦断した。9月上旬に台風第21号が西日本に襲来し、特に大阪湾周辺では記録的な暴風や高潮による浸水のため甚大な被害が発生した。まもなく災害の発生から1か月経つにもかかわらず、現在も復旧作業が続いている。
- ・台風第21号の襲来時には、沿岸部では高潮で多くの自動車やコンテナが流され、大規模な停電も発生した。また、関西国際空港は滑走路やターミナルビルが浸水し、空港へ渡る連絡橋にもタンカーが衝突して破壊されるなど、復旧まで長期間を要した大きな被害になったことが広く報じられた。
- ・潮位や暴風の観測値は、1961年に襲来した「第二室戸台風」に匹敵するものとなり、大阪湾周辺では歴史に残る大きな被害をもたらした台風となった。
- ・台風の接近により南西諸島や東日本の太平洋側を中心に記録的な暴風となり、全国55地点で最大瞬間風速が観測史上最大を記録した。また、紀伊半島を中心に高潮となり、過去最高潮位を超えた地点があった。
- ・九州・四国・東海などでは大雨となり、30日夜から1日未明にかけて愛知県、静岡県、山梨県で相次いで記録的短時間大雨情報が発表された。

最大瞬間風速

地域	日時	風速
鹿児島県与論町（与論島）	9月29日23時10分	56.6m/s
沖縄県南城市（糸数）	9月29日9時55分	56.2m/s (2009年の観測開始以降最大)
鹿児島県十島村（中之島）	9月30日7時28分	54.6m/s (2009年の観測開始以降最大)
東京都八王子市	10月1日0時11分	45.6m/s (2008年の観測開始以降最大)

最高潮位

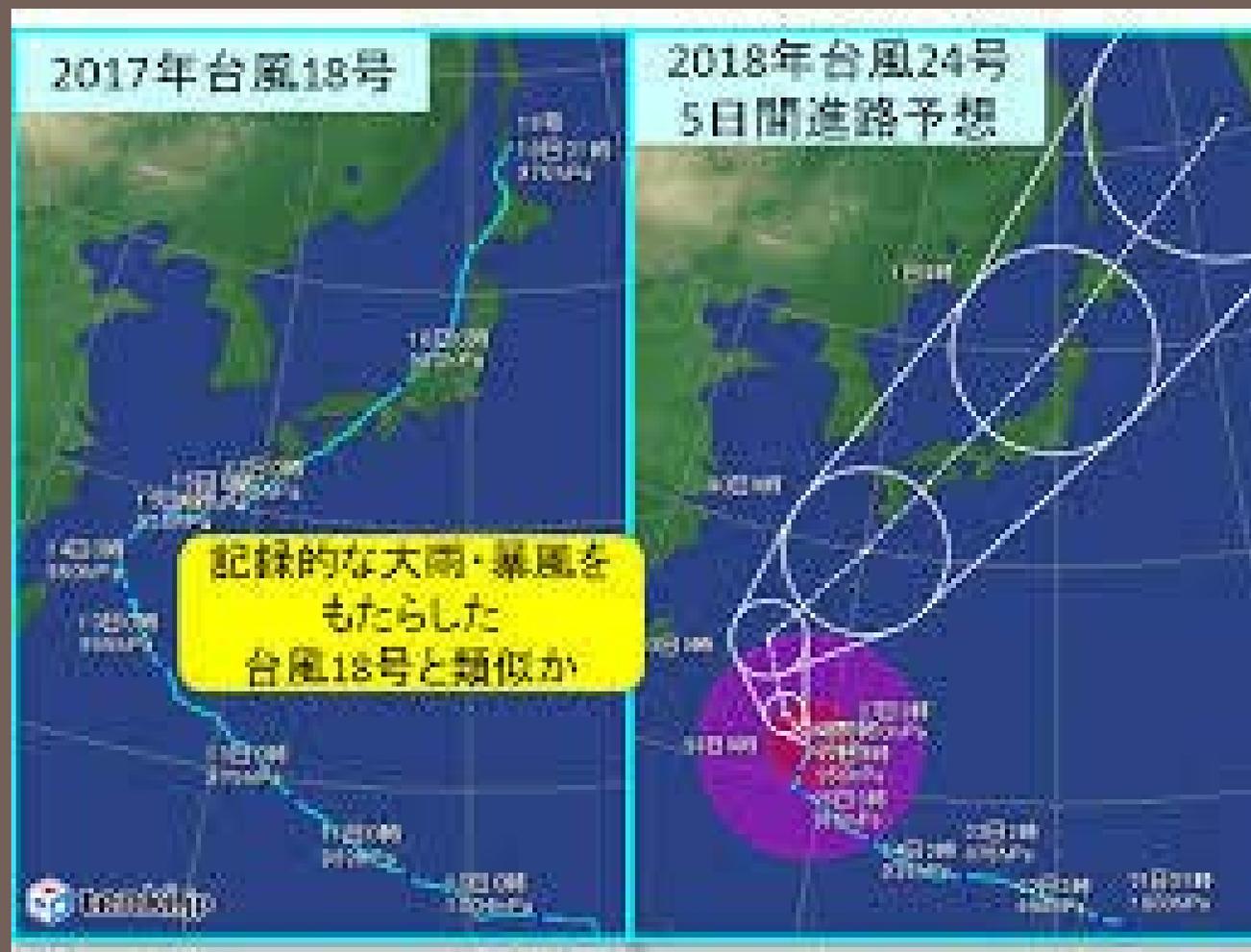
地域	日時	潮位
和歌山県御坊市	9月30日19時34分	296cm
和歌山県串本町	9月30日20時36分	254cm
鹿児島県奄美市	9月29日21時26分	203cm
和歌山県白浜町	9月30日19時46分	196cm

※串本町と白浜町では、同年の台風21号で記録した過去最高潮位を上回った。

台風の様子

- ・ 9月18日にマリアナ諸島近海で形成した低圧部が、20日9時に熱帯低気圧に発達。合同台風警報センター（JTWC）は同日18時（協定世界時20日9時）に熱帯低気圧形成警報（TCFA）を発し、21日6時（協定世界時20日21時）に熱帯低気圧番号28Wを付番した。
- ・ 熱帯低気圧は21日15時、マリアナ諸島の北緯15.0度、東経143.7度で台風となり、アジア名チャーミー（Trami）と命名された。9月中に台風24号が発生するのは1994年以来24年ぶりである。台風は23日18時（フィリピン標準時23日17時）にフィリピン大気地球物理天文局（PAGASA）の監視領域に進入したため、フィリピン名ペン（Paeng）と命名された。
- ・ 台風は25日0時には猛烈な勢力に発達し、フィリピンの東の海上で速度を落としつつ北上し、29日には南西諸島に最接近した。台風は久米島付近で北東に転向し、30日20時頃に中心気圧960hPa、最大風速40m/sの大型で強い勢力で和歌山県田辺市付近に上陸した。
- ・ 台風は上陸後さらに速度を速め、10月1日9時に日本の東の北緯41.3度、東経144.2度で温帯低気圧に変わった。

台風の進路（台風18号との比較）



台風の進路（台風21号との比較）



被害状況



被害状況



被害状況

